

至誠通信

衆議院議員 おおはた あきひろ 大島章宏

2014年 夏期号
発行：おおはた章宏後援会
茨城県日立市鹿島町 1-11-13
TEL 0294-21-5522
FAX 0294-21-3014
E-mail oohata@oohata.com
HP <http://www.oohata.com/>



安心して暮らせる社会をめざして

衆議院議員大島章宏

昨年7月に民主党幹事長を拝命して以来、党本部での仕事を中心に、後援会の皆様にご報告する場やご意見を聞く機会が減ったことを誠に申し訳なく思っております。

皆様ご存知のように、いま民主党は、もう一度国民の信頼を取り戻すために、海江田代表を中心に全国を飛び回って多くの方々のご意見を聞き、精力的に党再生に取り組んでおります。もちろん、その基本は、国民が将来安心して生活できる最善の政策を追求し、その実現に向けて、野党第一党としての役割をきっちりと果たすことです。

安倍政権は、7月に「集団的自衛権の行使」を認める憲法解釈の変更を閣議決定しました。昨年の「特定秘密保護法」の制定に続く今回の閣議決定で、多くの国民が安倍政権の進める政策の危うさに気づき始めています。野党の力を結集して、

国民や国会に十分な説明もないまま「憲法解釈」を勝手に変更するような乱暴な国会運営を改めさせなければなりません。

また、先日公表された厚労省のデータによると、平成12年度の子供の貧困率が過去最悪の16.3%に達しましたが、その要因として、ひとり親の貧困や非正規労働の拡大が考えられます。安倍政権の下では非正規雇用が増え続け、さらに「残業代ゼロ法案」が画策されるなど雇用不安が高まり、ますます貧困が拡大することが懸念されています。

民主党は、これらの課題に対して、役割が存分に発揮できるよう体制を強化し、さらに年末の茨城県議会議員選挙と来春の統一自治体選挙の勝利に向けて全力で取り組んでまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

活動報告

2014年1月～7月

党務

1月24日から6月22日まで開かれた第186回通常国会。大島議員は民主党幹事長として与野党間における様々な調整や党内政策の取りまとめ、衆院補選の応援など、党務中心の活動に尽力してまいりました。また、各メディアに出演することで、党の広報としての役割も果たしました。

■ 与野党間で各種協議



▲与野党幹事長で衆院選挙制度を議論する第三者機関の設置を衆院議長に申し入れ=5/15 国会

■ 衆議院鹿児島2区補欠選挙



▲野党共闘で臨んだ衆議院鹿児島2区補選で各党幹事長と街頭演説=4/23 鹿児島県指宿市

■ メディア出演（主な出演は右記の通り）



▲NHK「日曜討論」に出演=5/18 都内

- ◆1/8 BS日テレ「深層NEWS」
- ◆1/26 NHK「日曜討論」
- ◆3/19 ラジオ日本
- ◆3/30 NHK「日曜討論」
- ◆4月 雑誌「東洋経済」に記事が掲載される
- ◆4/9 NHK「NHKスペシャル」
- ◆4/28 BSフジ「プライムニュース」
- ◆5/18 NHK「日曜討論」
- ◆6/4 ラジオ日本「岩瀬恵子のスマートNEWS」
- ◆7/6 NHK「日曜討論」

地元

民主党幹事長としての日程が多く、地元に戻れない日々が続きましたが、可能な限り地元日程にも顔を出させていただきました。



▲通常国会の中盤で国政報告会を実施=5/16 東海村



▲5年に1度開催される常陸大津の御船祭に参加=5/3 北茨城市



▲北茨城・高萩地区合同メーデーに参加=4/19 高萩市



▲地元後援会の皆さんと続けてきた国政報告会もこの日で77回目=6/1 日立市

◆詳細はHP、Facebookで更新中！

大島章宏

検索



大島章宏 WEBサイト
至誠一貫



未来への責任

大島議員がいま、考えていること。



集团的自衛権や労働法制の改悪など、今国会は安倍総理こだわりの政策が目立つ国会となりましたが、そうした国会も終盤を迎えた6月4日、大島章宏議員はラジオ番組に出演しました。今号ではその内容の一部をご紹介します。【収録日:2014年6月4日 出演番組:ラジオ日本「岩瀬恵子のスマートNEWS」】

—安倍政権が進める集团的自衛権について

大島 民主党としては(1)立憲主義、(2)法治主義、(3)法的な安定性の確保——の3つの視点で考えるべきだとしている。そうした見地からすると、今回の安倍政権が進める「憲法解釈の変更をして集团的自衛権の行使を認めることができる」という考え方には問題があり、認められない。

—集团的自衛権に関しては党内にも様々な考え方があるようだ

大島 自民党内にも他の各党内にも様々な議論がある。日本は自由主義国であるため、党内にいろいろな考え方の人がいるのは当然ではないか。戦後69年、先輩方が大激論を重ねてきた問題を通常国会の終盤になって「あと2週間半で結論を出そう」ということには無理がある。国民の皆さんもよくわかっていない状況ではないか。

—「野党が情けない、一強多弱」と言われていることについて

大島 現在、野党は8党あるが、8党に分かれているということは8党それぞれの考え方が違うということ。ただ、巨大与党に対して8党がバラバラではいけないということを今年4月の衆院鹿児島2区の補欠選挙のときに再認識した。そうした経緯もあり、現在、国会では政策面で一致できる部分については各党で協力して進めていく方向で努力を重ねている。



—安倍政権が進める労働政策について

大島 格差社会や雇用問題などが原因となって今の日本には貧困が広がり始めていると感じている。そうした中において安倍政権は、正社員の金銭解雇や一生涯派遣労働を続けることが出来るようになる政策、あるいは年俸制にして残業代を払わないようにしようという仕組みづくりを進めようとしているようだが、これらが実現していくと日本では正社員がごく一部になり、ほとんどが派遣社員や非正規社員になってくる。そうなった場合、これから5年後、10年後、20年後の日本を考えたときにどうなるのかと、非常に不安定な社会になってしまうのではないかと危惧している。この改悪を阻止しなければならない。

—一回の選挙からは東海村も茨城第5区に入るが、原発再稼働に対する民主党の考え方について

大島 2011年3月11日の東日本大震災によって福島で原発事故が起き、今でも13万人の方が避難生活を余儀無くされている。民主党としては事故後約1年間、国民の皆さんのご意見を聞きながら、議論を重ねて、「2030年代に稼働原発ゼロを目指す」方針を固めた。従って、住民理解を得ることを大前提にして、安全性を第一に、定めた基本方針に基づいて進めるべきと考えます。

—東日本大震災から3年が経過したが

大島 安倍総理は野党時代、「民主党は復興が遅い」と言っていたが、安倍政権が誕生してから一年半が経過している。集团的自衛権や雇用問題に熱を上げる前に、まず復興に力を入れていただきたい。復興なくして日本の復興はない。安倍総理にはそういう原点をしっかりと踏まえたい。今後の政権運営に当たっていただきたい。

※ 収録した内容は、「大島章宏 HP」もしくは、「岩瀬恵子のスマートNEWS」のサイトからお聴きいただけます。

地域の声

皆さまからの投稿による「地域の声」をお伝えいたします。

思いやりの子育て環境を

匿名希望 (日立市 40代)

仕事と家庭(育児)の両立をする上で、家族(特に夫)の手助け・思いやりは必要だと思います。共働きの世帯では、働いている以上、妻も残業や出張等が発生します。外でも働いて、家庭に帰っても料理や洗濯・育児などが待っている。息つく間もなくこなし、自分のことは後回し。風土的に『男性は仕事』『女性は家庭を守る』がまだまだ根強い社会で、ふと気がつく自分だけが大変な思いをしている気にならざるを得ない。私だけでしょうか?いつも笑顔いっぱいの明るい家庭を描いていたはずが、些細な事で嫌な気持ちになり、夫婦喧嘩。こんな状況は子供にとって、良い環境ではなく・・・そう思うのも自分だけかと



自己嫌悪。こうなると負のサイクルです。子育て支援等の制度の整備も大切ですが、その前にお互いを思いやる気持ちが持てる社会、学校教育においても男女がお互いを尊重し合い・認め合える教育の充実がこれからは必要なのではないでしょうか?

【「地域の声」投稿募集】本文 300 字程度。住所、氏名、年齢(非公開可)、職業(元職も可)を明記し、おおはた章宏後援会までお願いいたします。

茨城県議会議員選挙



▲写真右から、郡司彰参院議員、大島章宏衆院議員、二川ひでとし氏、さいとう英彰氏、はせがわ修平氏、藤田幸久参院議員、藤田三男氏=6/15

高齢者福祉政策研究会(藤田三男会長)は6月15日、本年12月に予定されている茨城県議会議員選挙に立候補予定の3氏を招いた激励集会を開催しました。

【立候補予定者紹介】

- ・ はせがわ修平 (日立市・県議6期)
- ・ さいとう英彰 (日立市・県議1期)
- ・ 二川ひでとし (ひたちなか市・新人)

※高齢者福祉政策研究会とは、日立製作所OBを中心に結成された勉強会の名称です。

国会見学のご案内

- ☆ テレビのニュースでも度々映し出される本会議場をはじめ、国会議事堂内外を見学していただくことができます。議事堂をバックに記念撮影もできます。
- ☆ 見学は無料で、所要時間は約1時間です。
- ☆ 国会議事堂内の食堂や国会限定のお土産屋さんなどもあります。別途ご相談ください。
- ☆ 個人や団体で見学を希望される方、ご興味を持たれた方は、お気軽にご連絡ください。



▲小学生の国会見学前に一言ご挨拶=5/29